

2021年度事業報告書

1 財団運営

全県コンベンション誘致事業及び指定管理事業を効率的かつ確実に実施できるよう、職員研修等の実施による人材育成及び組織体制の充実・強化を推進した。また、昨年度から続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響に対応するため、賛助会費の減免や感染状況に応じたテレワークの実施等による事務局運営を行った。

(1) 理事会・評議員会の開催

①理事会 開催場所（米子コンベンションセンター）

区分	開催期日	出席役員	議決事項
第126回	2021年5月20日	理事7人 監事2人	① 2020年度事業報告 ② 2020年度収支決算報告 ③ 規程の改正 ④ 書面評議員会の招集 ⑤ 職務執行状況報告
第127回 (書面)	2021年6月10日	理事7人 (表決数)	① 理事長及び常務理事の選任 ② 理事長及び常務理事の役員報酬
第128回 (書面)	2021年8月10日	理事7人 (表決数)	① 2021年度賛助会費の免除及び収支補正予算 ② 書面評議員会の招集
第129回 (書面)	2022年1月25日	理事7人 (表決数)	① 評議員会の招集
第130回 (書面)	2022年2月22日	理事7人 (表決数)	① 2021年度収支補正予算 ② 2022年度事業計画 ③ 2022年度収支予算 ④ 諸規程等の改正 ⑤ 重要な職員の任命 ⑥ 常務理事の役員報酬 ⑦ 書面評議員会の招集
第131回 (オンライン)	2022年3月22日	理事6人 監事2人	① 職務執行状況報告

②評議員会

区分	開催期日	出席役員	議決事項
第64回 (書面)	2021年6月10日	評議員9人 (表決数)	① 2020年度事業報告 ② 2020年度収支決算報告 ③ 評議員の選任 ④ 理事の選任 ⑤ 監事の選任
第65回 (書面)	2021年8月30日	評議員9人 (表決数)	① 理事の補欠選任 ② 2021年度収支補正予算(報告)

区 分	開催期日	出席役員	議決事項
第66回 (書面)	2022年2月28日	評議員9人 (表決数)	① 評議員の補欠選任 ② 2021年度収支補正予算(報告) ③ 2022年度事業計画(報告) ④ 2022年度収支予算(報告)

(2) 基本財産に関する事項

①基本財産の状況

2021年度の出捐金受入はなく、基本財産972,142千円であった。

[出捐状況]

(単位:千円)

区 分	2020年度までの 出捐金受入済額 A	2021年度 出捐金受入額 B	出捐金 受入額計 (A+B)	摘 要	
行 政	鳥取県	500,000	—	500,000	
	米子市	150,000	—	150,000	
	鳥取市	50,000	—	50,000	
	倉吉市	30,000	—	30,000	
	境港市	20,000	—	20,000	
	市町村振興協会	100,000	—	100,000	
計	850,000	—	850,000		
民 間	122,142	—	122,142	405件 企業・団体・個人	
合 計	972,142	—	972,142		

②基本財産の運用

国債(10年利付、20年利付)、地方債、電力債、定期預金による、基本財産の運用を行った。

2021年度基本財産運用報告書(資料1)

(3) 賛助会員に関する事項

①賛助会費収入額

新型コロナウイルス感染症の会員への影響を勘案し、賛助会員に関する規程第6条により、前年度から継続して賛助会員である会員については2021年度の会費を全額免除とした。

2021年度 新規加入 0件、会費収入 0円

②賛助会員の加入状況

[賛助会員の構成及び口数]

業 種 別	会 員 数		口 数	
	2021年度	2020年度	2021年度	2020年度
ホテル、旅館	36	36	38	38
観光施設・ゴルフ場	13	13	13	13
関連企業	102	105	109	112
計	151	154	160	163

(4) 人材育成

①各種会議・研修会への参加

(ア)各種会議

誘致課	日本コンGRESコンベンションビューロー	総会(オンライン開催)、部会(オンライン開催) 人材育成研修(オンライン開催)
	中国四国地区コンベンション推進協議会	総会(書面開催)
	四都市コンベンションビューロー	連携会議
センター	鳥取県文化施設協議会	総会、合同研修会
	全国展示場連絡協議会	総会(書面開催)、ブロック総会(書面開催) 全国実務担当者会議(オンライン開催) ブロック実務担当者会議(書面開催)
	国際会議場施設協議会	総会・実務研究会(オンライン開催)

(イ)研修会

【職場内研修】

研修名	実施時期	目的
人権研修	2022年1月	人権問題への気づき、理解を深める
コンプライアンス研修	2022年3月	コンプライアンスの徹底・意識強化

【外部研修派遣】※オンライン参加含む

JNTO(日本政府観光局)MICEセミナー中級、中堅リーダー養成研修、女性のためのスキルアップ研修、Microsoft Office(Power Point)研修、プレゼンテーション研修 等

(5) CSR活動及びSDGsの推進

- ①コンベンションセンター周辺美化活動の実践(毎週月曜)、中海アダプトプログラム(年1回)の環境保全、地域美化活動への参加
- ②鳥取県版環境システム(TEAS II種)への登録により、ゴミの削減等環境に配慮した財団及び施設運営の推進
・星取県ライトダウン・キャンペーンへの参加
- ③「とっとりSDGsパートナー」制度への登録による、グリーンコンベンションや男女共同参画等、従前からの取り組みのさらなる推進(2021年5月登録)

2 誘致事業

2021年度は、年間を通して全国的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続き、開催予定のコンベンションの多数が中止、延期、現地参加のないオンライン開催となった。また、大学等の合宿についても自粛指示が継続され、誘客困難な状況であった。新しい開催形態として現地開催とオンライン開催を併用するハイブリッド開催が増え、現地の参加規模が大きく縮小したため、年間実績は件数 55 件、参加人数 12,966 人と前年比では増となったが、依然として厳しい結果となった。

コンベンション誘致支援実績

区 分	件数		参加人数	
	2021 年度	(2020 年度)	2021 年度	(2020 年度)
学 術	13	(3)	3,695	(236)
一 般	7	(3)	711	(195)
ス ポ ー ツ	26	(2)	8,083	(690)
企 業	0	(0)	0	(0)
M I C E	0	(0)	0	(0)
合 宿	9	(8)	477	(828)
計	55	(16)	12,966	(1,949)

コンベンション誘致進捗状況（2022 年度以降開催分）

区 分	2022 年度		2023 年度		2024 年度以降	
	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
学 術	28	10,170	15	6,930	11	5,100
一 般	26	13,550	16	7,380	5	3,200
ス ポ ー ツ	25	11,420	8	4,070	3	2,050
企 業	1	600	0	0	0	0
M I C E	0	0	0	0	0	0
合 宿	1	400	0	0	0	0
計	81	36,140	39	18,380	19	10,350

※ コンベンション誘致支援状況の詳細は資料2、3 のとおり

2021年度に開催決定した主なコンベンション

開催年月	大会名称	参加者数	区分	開催地	主会場
2022年9月	第49回日本乳腺甲状腺超音波医学会	550	学術	米子市	米子コンベンションセンター
2022年11月	繊維学会秋季研究発表会	350	学術	鳥取市	とりぎん文化会館
2022年11月	部落解放研究第55回全国集会	2,000	一般	米子市	米子産業体育館 米子コンベンションセンター 他
2022年12月	第29回日本航空医療学会総会	500	学術	鳥取市	とりぎん文化会館
2023年3月	第134回日本森林学会大会(ハイブリッド開催)	350	学術	鳥取市	とりぎん文化会館
2023年7月	全日本教員ソフトボール選手権大会	600	スポーツ	倉吉市 湯梨浜町	倉吉総合産業高等学校他
2023年8月	砥粒加工学会 ABTEC 講演会	300	学術	米子市	米子コンベンションセンター
2024年1月	第16回日本ロボット外科学会学術集会	500	学術	米子市	米子コンベンションセンター
2024年2月	第57回日本痛風・尿酸核酸学会総会	300	学術	鳥取市	とりぎん文化会館

開催年月	大会名称	参加者数	区分	開催地	主会場
2024年9月	全日本社会人バドミントン選手権大会	1,200	スポーツ	鳥取市 倉吉市	鳥取県民体育館、鳥取産業体育館、倉吉体育文化会館
2025年5月	日韓触媒シンポジウム	400	学術	米子市	米子コンベンションセンター

(1) 誘致活動

コンベンション主催者及び県内の大学・団体等の関係者に対して、鳥取県でのコンベンション開催を働きかけた。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、県外等への訪問活動は自粛し、オンライン商談会への出展やメール、オンラインによる情報収集活動等を行った。

①誘致交渉件数実績

※メール、オンライン等での交渉を含む。

地域	訪問先区分(延べ件数)						計
	学術	一般	行政	企業	スポーツ	旅行代理店	
県内	77	60	0	1	42	0	180
県外	41	44	0	0	35	4	124
国外	0	0	0	0	0	2	2
計	118	104	0	1	77	6	306

②県人会、同窓会等を通じた情報収集及び人脈構築

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止となった。

[事業内容:鳥取県人会、高等学校同窓会の会員にコンベンションの開催効果をPRし、大会・会議の鳥取県での開催と各種情報提供を要請する。]

③コンベンション開催意向調査

県内主催者を対象に、コンベンションの県内開催の意向及び関係諸団体の全国大会等の開催状況についてアンケート調査を実施した。

* 2021年度コンベンション開催意向調査実施先 8月実施

鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校、県内各種団体
県内スポーツ団体、県内主要コンベンション施設、県・市町村観光担当課

④各種協議会への参加

- (ア)JCCB(日本コンgres・コンベンション・ビューロー)総会 6月25日(オンライン開催)
- JCCB第1回コンベンションビューロー部会 7月8・9日 上越市 → 中止
- JCCBコンベンションビューロー部会情報交換会 1月13日(オンライン開催)
- (イ)中国・四国地区コンベンション推進協議会総会 6月(書面開催)
- (ウ)四都市(鳥取、浜松、長野、福井)コンベンションビューロー連携会議 12月10日 東京都:機械振興会館

⑤各種商談会への出展

- (ア)JNTO(日本政府観光局)主催 台湾インセンティブセミナー【8月:台中・台北】 → 開催中止
 - 韓国インセンティブマート【10月:ソウル】 → 開催中止
 - (イ)中国・四国地区コンベンション誘致懇談会【12月:東京】 → 開催中止
 - (ウ)第31回国際MICEエキスポIME2022(オンライン)への出展
- JCCB、JNTO 主催の MICE 商談会に参加し、コンベンション主催団体等との商談を行い、鳥取県での開催を働きかけた。

開催日	2022年2月16日(水)~17日(木)
形式	オンラインによる商談
商談件数	6団体(コンベンション主催団体、インセンティブ取扱旅行会社等)

(2) 開催支援事業

コンベンション誘致を促進するため、県内で開催される大会・会議に対して主催者を支援する各種サービスを提供した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により開催延期や会場変更が必要になった主催者のサポートを行うとともに、コロナ禍でのコンベンション開催チェックリストを配布し、安心安全なコンベンション開催を働きかけた。

①コンベンション開催助成金

(単位:件)

開催地	助成額 (千円)	0 ～ 50	51 ～ 100	101～ 200	201～ 300	301 ～600	601～ 1,000	1,001 ～ 2,000	2,001～	計	交付金額 (千円)
	鳥取市			1							1
倉吉市				1						1	200
米子市				1		1	1	2	1	6	9,800
若桜町	1									1	50
三朝町			1							1	100
湯梨浜町			1							1	100
大山町				1	1					2	400
日南町			2							2	200
計		1	5	3	1	1	1	2	1	15	10,950

※ 県外参加者の延宿泊数に応じて助成金を交付。

②感染症予防対策支援助成金

コンベンション開催時の感染症予防対策を支援するため、対策経費の一部を助成した。

助成件数: 11件 交付金額: 2,649千円

③コンベンションへの物的支援等 *2021年度 財団関与対象コンベンション 55件

支援内容	件数	適用
歓迎看板等の掲出	15	会場
コンベンションバッグの提供	35	
観光パンフレットの提供	40	県・各市町パンフレット、グルメガイド等
文化・観光施設割引券の提供	39	
地元特産品の提供	10	地酒、梨ジュース等
その他サービス提供	29	消毒液、クローク札等
物産販売斡旋	5	
観光案内コーナー設置	0	

(3) 調査企画事業

①コンベンション参加者アンケート調査

コンベンション参加者を対象とし、鳥取県についての意見・感想、支出経費等について、アンケート調査を実施した。調査対象コンベンションの多数が中止、WEB開催となったため、実施件数は当初計画(45件)より大幅に減となった。

*2021年度アンケート調査

実施方法	アンケート用紙配布(Web回答可)	Webアンケートのみ	計
実施コンベンション件数※	10件	1件	11件
アンケート対象人数	4,153人	136人	4,289人
回収件数	296件	12件	308件
平均回収率	7.1%	8.8%	7.2%

※実施コンベンション件数は有効回答があった件数。

②経済的波及効果の推計調査

対象コンベンションの多数が中止、WEB開催となり、統計上の偏りが出るため中止した。

[事業内容:コンベンションに対する県民の理解を深め、大会・会議等の誘致機運とホスピタリティの高揚を図るため、コンベンション開催による経済的波及効果を推計調査する。]

③コンベンション情報説明会・交流会in中部の開催

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催を中止した。(2022年度に延期)

[事業内容:県内の主催者と賛助会員を中心としたコンベンション関連事業者及び観光関係者を対象に、コンベンション誘致事業や受入れ状況を説明するとともに、主催者と関係事業者の交流、情報交換の機会を創出する。3月4日 倉吉市開催予定]

(4) 広報宣伝事業

①ホームページ等による情報発信

(ア)コンベンション開催情報や開催支援制度、県内のコンベンション及びスポーツ施設等の情報を主催者、関係諸団体に提供した。また、観光・イベント等情報集約サイト「とっとり・楽しいガイド」の運用により、大会・学会ホームページを通じ、参加者への県内情報発信を推進した。

- ・2021年度来訪者数 19,483件(前年16,306件)
- ・2021年度ページビュー数 51,786件(前年43,799件)

(イ)オンライン、ハイブリッド開催となったコンベンションでのオンライン参加者に向け、鳥取県の観光・物産情報を発信するため、また、事前の配信で現地参加者の増につなげるため、短編PR動画を作成し、主催者に提供した。(3月供用開始)

②機関紙の発行

コンベンション開催情報等を掲載した機関紙「Heart Field TOTTORI」を発行した。

- ・発行月 年3回(7月、10月、3月)
- ・発行部数 2,300部(1回あたり)
- ・配布先 県内コンベンション主催者、賛助会員、コンベンション施設、行政機関(県市町村)、文化観光関連団体、交通機関、商工会議所、マスコミ等

③広報宣伝記事等の掲載

電気学会学会誌等、広告掲載 7件

④文化・観光施設優待割引券(WEB版)の作成

コンベンション参加者のアフターコンベンションの誘発効果をねらうため、県内主要観光施設、文化施設の優待割引券を作成し、コンベンション参加者に提供した。なお、本年度よりWEB版のみとし、会場でのポスターによる周知の他、事前に学会・大会のホームページを通じ、「とっとり・楽しいガイド」サイトよりダウンロードできるようにした。

- ・掲載施設 47施設(東部17、中部9、西部21)

⑤大会歓迎ステッカー等の作製・掲出

コンベンション参加者への歓迎と地域住民へのコンベンション開催周知のため、歓迎ステッカー及びタクシーステッカーを作成し、開催期間中各商店街・賛助会員店等の店頭並びにタクシーに掲出した。開催中止や自粛により、掲出件数は当初計画(10件)より大幅に減となった。

- ・作成部数 歓迎ステッカー 2件 500部、タクシーステッカー 2件 540部

3 米子コンベンションセンター管理運営事業(指定管理事業)

コロナ禍2年目となる2021年度は、引き続き感染予防対策の徹底に努め、各種ガイドラインに基づく貸館運営及び館内環境整備を継続した。また感染拡大期においては、在宅勤務等による出勤職員数の抑制や、抗原検査キット等の整備により、万一の利用者及びセンター職員の感染時やクラスター発生時においても事業継続できる体制の確立に努めた。

また、コンベンション開催形態の変化に対応するため館内通信環境の強化に努め、多目的ホール・小ホール・国際会議室・情報プラザ・エントランスにおけるWi-Fi環境整備も完了し、ほぼ館内全域でのWi-Fi利用が可能となった。

	年間利用者数	年間利用料収入
目標	300,000人	100,000,000円
実績	104,683人	73,660,120円
(2020年度)	(59,368人)	(36,942,290円)

【施設の利用状況】

前年度に比べ徐々に稼働率や利用料収入は回復の兆しが見られたものの、イベント自体の規模縮小やハイブリッド等の開催形態の変化によって、利用者数はコロナ禍前水準の3割程度に留まった。

比較的中小規模のイベントは開催されているが、大型イベントは主催者もリスクを考慮し中止や延期を選択する傾向が続いている為、施設別では多目的ホールの回復が顕著に遅れている。一方、小ホールや会議室は地元の利用者を中心に比較的早期の回復傾向にある。

県内の感染拡大状況に合わせ、自治体のキャンセル料免除措置が3回実施されており、2021年度における新型コロナウイルス感染症に起因するキャンセルの件数は376件、施設利用料は18,992千円であった。

①施設の利用実績(利用日数、稼働率)

施設名称	2021年度実績			2020年度実績
	利用可能日数A (日)	利用日数B (日)	稼働率B/A (%)	利用日数/稼働率 (日数)/ (%)
多目的ホール	294	109	37.1	51日/18.9
小ホール	323	203	62.8	113日/38.6
国際会議場	330	157	47.6	97日/31.3
会議室	2,752	1,818	66.1	1,367日/51.8
計	3,699	2,287	61.8	1,628日/46.3

(注)・利用可能日数＝年間日数－閉館日数－設備保守点検日数
・利用実績の推移は資料4、5のとおり

②新型コロナウイルス感染症によるキャンセル

	件数	キャンセル手数料
新型コロナウイルス感染症によるキャンセル ※申請日基準	376件	11,284,650円
上記のうち感染拡大期における利用者負担免除(行政施策)	239件	7,763,170円
上記のうち鳥取県による補填	217件	6,055,890円

③減免利用実績(件数、金額)

	2021年度実績				2020年度実績
	文化団体	学校行事	障がい者団体	計	計
件数	51	14	163	228	170
減免額	781,570円	4,475,680円	3,500,330円	8,757,580円	5,521,910円

④催事種類別件数実績（会議室を除く）

催し物類型		2021 年度				2020 年度			
		施設内訳件数				施設内訳件数			
		多目的	小ホール	国際	計	多目的	小ホール	国際	計
集 会	大会・式典	12	16	12	40	5	6	3	14
	講演会	4	7	8	19	1	6	5	12
	会議・研修会	10	44	43	97	7	27	21	55
	その他	2	3	23	28	4	5	12	21
展 示	展示会・見本市	5	0	2	7	3	0	4	7
	その他	1	0	1	2	0	0	1	1
音 楽	吹奏楽	1	4	0	5	3	6	0	9
	ポピュラー	12	4	0	16	0	0	0	0
	邦楽	0	1	0	1	0	0	0	0
	その他	0	37	0	37	0	25	0	25
芸 能	演劇	2	4	1	7	2	1	0	3
	演芸	0	3	0	3	0	0	0	0
	映画	1	8	0	9	0	6	1	7
	その他	4	6	4	14	4	9	1	14
その他		7	36	0	43	2	0	0	2
計		61	173	94	328	31	91	48	170

(1) 利用者サービス

①ワンストップサービス利用実績

サービスプラン名	2021 年度実績		2020 年度実績	
	件数	金額	件数	金額
看板作成サービス	0 件	0 円	8 件	85,820 円
大会運営用貸出サービス	6 件	5,060 円	3 件	2,840 円
ごみ回収サービス(有料ごみ袋)	7 件	130,820 円	4 件	7,440 円
ピアノ調律サービス	1 件	22,380 円	0 件	0 円
テクニカルスタッフ増員サービス	1 件	27,500 円	0 件	0 円
国際会議場レイアウト楽得パック	45 件	1,451,580 円	21 件	697,500 円
館内LAN配線サービス	4 件	73,920 円	8 件	147,840 円
館内LAN配線サービス(専有回線)	48 件	887,040 円	—	—
多目的ホール楽得展示パック	4 件	183,330 円	1 件	52,380 円
計	116 件	2,781,630 円	45 件	999,820 円

その他サービスプランの利用実績

サービス内容	備 考	2021 年度実績	2020 年度実績
多目的ホール練習プラン	多目的ホールの格安練習プラン	0 件/ 0 円	0 件/ 0 円
小ホール練習プラン	小ホールの格安練習プラン	7 件/ 15,400 円	1 件/ 2,200 円
小ホールピアノセットプラン	小ホールの格安練習プラン(ピアノ付き)	27 件/ 170,500 円	12 件/ 71,500 円
計		34 件/ 185,900 円	13 件/ 73,700 円

② 利便施設の利用実績

利便施設名称	備 考	2021 年度利用実績	2020 年度実績
ビジネスコーナー	パーティションで仕切ったビジネス用デスクを設け、パソコンとプリンターを有料(15分200円)で利用できるコーナー。	256 件 /51,200 円 (一部延長による利用を含む)	315 件 /63,100 円 (一部延長による利用を含む)
チケット・書籍販売コーナー	鳥取県内で開催されるイベントチケットの委託販売を請け負い、来館者へ販売。 また、地域の歴史や情報を取り扱う各種書籍も取扱い販売を行った。	・チケット販売手数料 39 件 / 111,753 円	・チケット販売手数料 29 件 / 86,431 円
		・書籍販売手数料 0 件 / 0 円	・書籍販売手数料 6 件 / 463 円
計		295 件 /162,953 円	350 件 /149,994 円

③ 利用者ニーズの把握

(アンケート調査実施状況)

時 期	項 目	概 要	実 績
2021.4~2022.3	アンケート調査	・利用者(主催者)にアンケートをお願いし、意見・要望を聴取し、サービスの改善や職員の接遇向上にも反映させた。また、その対応状況については、毎月ホームページで公開した。	2,628 件

(顧客満足度を高めるサービス改善への取り組み)

時 期	項 目	内 容	実 績
2021.4~2022.3	催事終了後の主催者への訪問等	・感染状況を鑑み、訪問活動は原則中止。メールや電話によるフォローに切り替え実施。現状や再利用への課題等の聞き取りに努めた。	46 件
2022.2 発送	主要利用団体向けアンケート	・例年開催している利用者懇談会に代わり、昨年に引き続きアンケート形式により意見・要望を聴取。サービスに反映するとともに課題を検討した。	送付 31 件 要望 14 件

(利用者の声を踏まえた改善)

時 期	項 目	内 容
2022.3	・多目的ホール、小ホール、国際会議室、情報プラザ、エントランスのWi-Fi環境整備	・会議室(第1~8)以外のエリアにもWi-Fiアクセスポイントを設置し、ほぼ全館においてID・パスワードによるフリーWi-Fi環境を整備した。※一般来館者には従来の tottori BB を案内

(2) 利用促進

・営業実績

区 分	主催者所在地	件数
新規営業 ※開催実績のない新規イベントに係るもの	山陰(鳥取県、島根県)	5
	その他(首都圏、関西、山陽等)	1
既存営業 ※開催実績のあるイベントに係る次回利用促進活動等	山陰(鳥取県、島根県)	43
	その他(首都圏、関西、山陽等)	3

・新規獲得催事

利用施設	催事獲得件数
多目的ホール	2
小ホール	0
国際会議場	2
その他	0
計	4

(3) 広報関連

- ①公式ホームページに新型コロナウイルス特設ページを設置し、感染予防対策の迅速且つ適切な情報発信を行った。
- ②イベントガイド発行(隔月 20 日・4,000 部)鳥取県西部エリアを中心に配布。
- ③中海テレビの文字放送番組「生活チャンネル」(毎日放送)にて催し物情報を放映。
- ④公式ツイッター及びインスタグラムによって、イベント及び事業情報などSNSによるタイムリーな情報発信を行うとともに、若年層への発信強化を図った。3 月末日フォロワー数(インスタ 520 人、ツイッター240 人)

(4) 地域連携

- ①食のみやこ鳥取県西部フェスタ連絡協議会(行政、マスコミ、農協等による実行委員会組織)に参画し、企画運営に携わることで連携強化を図った。(フェスタ自体は新型コロナウイルス感染症により前年に引き続き開催中止)
- ②「Yonago ヒカリ☆マチプロジェクト実行委員会」(米子市、米子商工会議所、米子彫刻ネットワーク等11団体)にセンター企画営業担当職員も実行委員として参画し、ライトアップ事業等を通じて地域と一体となった活性化活動に取り組んだ。

(5) 施設管理

新型コロナウイルス感染予防対策には危機管理室を中心として行動計画及びガイドライン等の策定・運用を図り、事務所内を含む館内環境の整備を推進強化した。

併せて危機管理の強化を図るとともに、アクションカードによる実用的な訓練実施、保守点検の徹底、故障又は故障の恐れがあるものに対して早期修繕・予防修繕を実施し、利用者に快適な空間を提供した。

また従来の各種災害対応マニュアル等の再整備と一元化を推し進め、全職員の認識及び意識向上を図るとともに、緊急時においてより実践的な初動が取れる事を重視した職員教育を行った。

項目		概要
危機管理	避難誘導訓練 (年2回実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・従来のシナリオ設定型を見直し、アクションカードを活用したより実践形式に近い避難誘導訓練を実施した。(入居団体、常駐委託業者も参加) ・避難誘導訓練を動画に記録し、誘導體制・誘導方法の更なる強化を図った。 ・消防用設備の説明会を入居団体・常駐委託業者も含めて実施し、使用方法の理解を深めた。
	救命救急講習 (年1回実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当指導員資格を有する職員主導で救命救急訓練(救命入門コース)を職員が受講し、救命技能の向上に努めた。(入居団体、常駐委託業者も参加)
安全・快適な施設づくり		<ul style="list-style-type: none"> ・徹底した日常点検及び定期点検結果を踏まえて、設備のトラブル発生を未然に防ぐ予防保全を積極的に行った。 ・警備員の日常巡回を施設内に併せて外回りも実施し、敷地内に限らず、周辺環境の安全管理を強化した。 ・清掃、常駐管理、安全管理等の委託業者と定期的な連絡を密に行い、情報と課題の共有を図り、良好な施設環境づくりに努めた。 ・共用部及び貸出施設の定時換気とアルコール消毒等の特別清掃を追加した。 ・鳥取県新型コロナ対策認証事業所として感染予防対策を実施

(6) グリーンコンベンションの取り組み

とっとりSDGsパートナー制度に登録し、グリーンコンベンションの理念をSDGsへ継承し更なる普及啓発を図った。

①主催者・利用者に対する啓発

来館者に財団の基本方針を示すとともに、3R推進を主催者に広く呼びかけを行った。

②鳥取県版環境管理システム(TEASⅡ種)に基づく環境改善

TEASⅡ種の要求項目に基づく会館運営を実施した。

③館内サイン(総合受付、エントランス階段)の掲示や、公式HPにおける専用ページ設置により、SDGs推進の取り組みを広く利用者に訴求した。

(7) 自主企画事業

①「0歳からのえがおのうたひろば」(ビッグシップコンサート①)【開催中止】

普段コンサートを鑑賞する機会の少ない親子を対象としたアットホームなコンサート。キッズコーナーを併設し親子で楽しめる空間を演出し開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の為開催を中止した。

開催日時：8月1日(日) 開演 11:00 終演 11:45

開催場所：多目的ホールホワイエ

出演者：マイトリー(奥田さやか・うた、持田陽平・ギター)

料金：500円

申込者数：81人(大人45人、子供6人、幼児30人)

②「ビッグシップナイト探検ツアー2021」【開催中止】

普段立ち入ることの出来ないバックヤード(舞台機構及び音響・照明等)の見学及び操作体験を通して、コンベンションセンターを身近に感じて貰い、更なるファンの拡大を図るもの。子どもを対象として初の夜間開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の為開催を中止した。

開催日時：8月9日(月祝)

開催場所：多目的ホール、小ホール、国際会議室

申込者数：11組39人

③「SUN-INハンドメイドフェスタ2021」(ビッグシップ航海デー)

地域で活動するクリエイターや団体の交流の場として、多目的ホールを開放して開催。当館を中心に実行委員会(よなごアートマーケット、山陰スマイルヒーローズ、鳥取県飲食生活衛生同業組合米子支部)を組織し企画運営を行った。昨年度に引き続き、感染予防対策(入場制限、距離確保、出展数制限、出展者山陰限定、検温実施、マスク着用、接触確認アプリ等推奨、開催時間短縮等)を徹底して開催した。

開催日時：12月5日(日) 10:00 ~ 16:00

開催場所：多目的ホール(全面平土間、ホワイエ)

出展数：ハンドメイド部門 44ブース

リラクゼーション部門 11ブース

飲食部門 10ブース

来場者数：約3,168人

④「ビッグシップヒカリノ音楽会」(ビッグシップコンサート②)

ビッグシップイルミネーション「光のナイトセーリング」プレート灯に合わせ、感染防止対策(定員50%、距離確保、検温実施、マスク着用、接触確認アプリ等推奨、開演時間短縮等)を徹底し、多目的ホールホワイエにて開催した。

開催日時：11月30日(火) 開場 18:15 開演 19:00 終演 20:30

開催場所：多目的ホールホワイエ

出演者：山川智馨(ピアノ)、湯浅いづみ(ヴァイオリン)

料金：一般1,000円 高校生以下500円

来場者数：88人

4 地域振興事業基金事業

基金を活用した利用者団体への支援事業や自主企画事業の実施は、センターと地域及び街や人を結びかけはしであり、ファンやサポーターを増やす重要なツールとして独自の特色ある事業を展開した。

(1) 地域のコンベンション振興に資する事業

①利用団体支援事業

(ア)助成金交付

多目的ホール及び国際会議場を連続3日以上利用する大規模催事の主催者へ助成金を交付した。また新規顧客獲得に向けた「新規利用者助成金」制度を活用し展示会を開催する新規利用の促進を通じて、コンベンション振興を図った。

(助成金交付状況)

区分	件数	助成金額
長期利用者	4件	205,000円
新規利用者	0件	0円
合計	4件	205,000円

(イ)企画共催支援

地域の企業・団体等が実施する事業について当財団が共催者として関与し、相互協力と連携強化を図り事業推進することによって圏域の賑わい創出と活性化に寄与するもの。対象を鑑賞型事業及び地域創造型事業とし、施設利用料助成、優先予約、広報協力等の支援を実施した。

(支援実施状況)

区分	件数	支援内容
鑑賞型事業	2件	施設利用料負担(325,320円)
地域創造型事業	0件	

(2) 地域の文化活性化に資する事業

①演劇ワークショップ

当館技術スタッフによる「演劇スタッフの役割」や「舞台装置の使用法」といった座学、境高校演劇部顧問の森川教諭による「演出の仕事と役割」についての講義を通じて演劇の基礎を学んだのち、照明班・音響班・舞台班に分かれて、実際の操作及び作業体験等の実践を行った。

開催日 : 5月5日(水)

開催場所 : 多目的ホール、小ホール、国際会議室

対象 : 鳥取県西部地区高校演劇部(6校)

鳥取県立米子東高等学校/鳥取県立米子西高等学校/鳥取県立米子高等学校/

鳥取県立境高等学校/鳥取県立境港総合技術高等学校/鳥取県立米子工業高等学校

参加人数 : 生徒48人、顧問9人、合計57人

②「子ども未来創造アート展 for SDGs」(アート交流ひろば)

公募により応募のあった鳥取県西部地区の小学生以下の子供達約280名による13種類のSDGsに関する作品展示とワークショップを通じて、楽しく学ぶことができるイベントとして開催した。ワークショップについては、ディスタンスの確保や定員設定、会場分割するなど感染防止対策を徹底した。

開催日 : 8月3日(火)~8日(日)

開催場所 : 情報プラザ(有料ワークショップは1階エントランス及び多目的ホールホワイエ)

協力団体 : クリニカルアートあわー、クリニカルアート鳥ト雲

出展団体 : 8団体

社会福祉法人みその児童福祉会米子聖マリア園/認定こども園仁慈保育園/認定こども園みずほ幼稚園/認定こども園あけぼの幼稚園/鳥取大学医学部附属病院(院内学級)/社会福祉法人米子福祉会五千石保育園/社会福祉法人米子福祉会巖保育園/社会福祉法人みのり福祉会向山保育園

来場者数 : 881人

③「光のナイトセーリング」(ビッグシップウインターイルミネーション)

鳥取県電業協会、レストランル・ポルト等との連携協力により敷地内樹木にイルミネーションを設置するとともに、外観照明をライトアップ演出し隣接する米子市文化ホール及び米子彫刻ロードと一体となった地域の賑わいを創出した。また SNS キャンペーンも実施し、センター周辺地域の魅力発信と公式 SNS の普及促進も併せて推進した。

開催日 : 12月1日(水)~1月31日(月)

開催場所 : ①レストランル・ポルト前テラス樹木及び植栽に LED イルミネーション約 1 万個を装飾

②ホール等屋根既存照明に舞台照明用カラーフィルターを取り付けライトアップ

③会議用屋内階段を舞台照明用 LED 機材によりライトアップ

④防水仕様フルカラーLED 照明機材によるル・ポルト前テラス内の池をカラー変色ライトアップ

応募総数 : SNS キャンペーン 129 件(いいね及びフォロー)

共催事業 : Yonago マチノヒカリ★2021 winter

2021年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2022年5月

公益財団法人とっとりコンベンションビューロー

2021年度 コンベンション開催助成金交付一覧（全県誘致事業）

開催期日	コンベンション名称	種別	参加者 (人)	開催地	開催主会場	助成金 (千円)	感染症対策 助成金 (千円)
6月10日～6月12日	第25回日本医療情報学会春季学術大会 シンポジウム2021in 米子	学術	254	米子市	米子コンベンションセンター	1,000	100
9月17日～9月19日	第69回日本心臓病学会学術集会	学術	730	米子市	米子コンベンションセンター、米 子市文化ホール	4,000	500
10月29日～10月30日	日韓泌尿器科会議 The 37th KOREA-JAPAN Urological Congress	学術	102	米子市	米子市文化ホール	200	100
11月6日～11月7日	第73回中国四国小児科学会	学術	204	米子市	米子コンベンションセンター	0	100
11月11日～11月12日	第66回日本生殖医学会学術講演会・総会	学術	939	米子市	米子コンベンションセンター、米 子市文化ホール	2,000	500
11月20日～11月21日	第60回日本臨床細胞学会総会（秋期大会）	学術	874	米子市	米子コンベンションセンター、米 子市文化ホール	2,000	500
12月18日～12月19日	第17回中四国放射線医療技術フォーラムCSFRT2021	学術	66	米子市	米子コンベンションセンター	0	100
3月9日～3月11日	第61回航空原動機・宇宙推進講演会	学術	136	米子市	米子コンベンションセンター	600	99
【学術】参加者小計			3,695	【学術】開催助成金小計 6件 感染症対策支援助成金小計 8件		9,800	1,999
11月26日～11月26日	第75回中国地方弁護士大会	一般	226	米子市	米子コンベンションセンター	0	300
【一般】参加者小計			711	【一般】開催助成金小計 0件 感染症対策支援助成金小計 1件		0	300
8月21日～8月22日	第73回中国卓球選手権大会	スポーツ	523	倉吉市	鳥取県立倉吉体育文化会館	200	165
12月4日～12月5日	CGFA2021フジパンカップ第45回中国U-12サッカー大会	スポーツ	348	鳥取市	鳥取県立布勢総合運動公園陸上競 技場、球技場	100	184
【スポーツ】参加者小計			8,083	【スポーツ】開催助成金小計 2件 感染症対策支援助成金 2件		300	349
【合宿】参加者小計			477	【合宿】開催助成金小計 7件		850	—
総件数 55件	参加者数総合計		12,966	開催助成金総合計 15件 感染症対策支援助成金合計 11件		10,950	2,648

2021年度 利用者支援助成金交付実績
(米子コンベンションセンター地域振興事業基金事業)

助成種別	交付先分類		件数	助成金(円)
長期利用者助成	県内	企業	1	45,000
長期利用者助成	県外	企業	2	115,000
長期利用者助成	県外	大学	1	45,000
長期利用者助成 計			4	205,000
共催支援助成	県内	企業	2	325,320
共催支援助成 計			2	325,320
合 計			6	530,320